

着眼点

- (1) x, y に 0 を代入する。
 (2) x に 0 を代入し, y の関数とみなし, y を x にすればよい。
 (3) $f(2x)$ については, $y=x$ を代入する。 $f\left(\frac{1}{3}x\right)$ については, x, y をそれぞれ $\frac{2}{3}x, \frac{1}{3}x$ にすればよい。
 (4) (1), (2) より $f(x)$ のおき方を工夫し, (3) より次数を求め, 関数を決定する。
 (5) b の値についての場合分けが必要となる。

解答例

(1) (※) に $x=y=0$ を代入すると $f(0)+f(0)=2f(0)+2f(0)$
 よって, $f(0)=0$

(2) (※) に $x=0$ を代入すると $f(y)+f(-y)=2f(0)+2f(y)$
 $f(0)=0$ であるから $f(-y)=f(y)$
 y を x として $f(-x)=f(x)$ が成り立つ

(3) (※) に $y=x$ を代入すると $f(2x)+f(0)=2f(x)+2f(x)$
 よって, $f(2x)=4f(x)$

次に, (※) の x に $\frac{2}{3}x$ を, y に $\frac{1}{3}x$ をそれぞれ代入すると

$$f\left(\frac{2}{3}x+\frac{1}{3}x\right)+f\left(\frac{2}{3}x-\frac{1}{3}x\right)=2f\left(\frac{2}{3}x\right)+2f\left(\frac{1}{3}x\right)$$

$$f(x)+f\left(\frac{1}{3}x\right)=2f\left(\frac{2}{3}x\right)+2f\left(\frac{1}{3}x\right) \quad \dots\textcircled{1}$$

ここで, $f(2x)=4f(x)$ より

$$f\left(\frac{2}{3}x\right)=f\left(2\cdot\frac{1}{3}x\right)=4f\left(\frac{1}{3}x\right)$$

が成り立つので, ①より

$$f(x)+f\left(\frac{1}{3}x\right)=2\cdot 4f\left(\frac{1}{3}x\right)+2f\left(\frac{1}{3}x\right)$$

$$9f\left(\frac{1}{3}x\right)=f(x)$$

よって, $f\left(\frac{1}{3}x\right)=\frac{1}{9}f(x)$

(4) $f(0)=0$ より, 定数項は 0 である

次に, $f(-x)=f(x)$ より, 次数が奇数の項の係数は 0 である

したがって, $f(x)$ は偶数次の項のみからなる整式である

ここで, $f(x)$ の次数を $2n$ (n は正の整数) とし, $2n$ 次の項の係数を A (ただし, $A \neq 0$) とおくと, $f(2x)=4f(x)$ より, $2^{2n}A=4A$ となり, $n=1$

よって, $f(x)$ の次数は 2 次であり, $f(x)=Ax^2$ ($A \neq 0$)

(5) (※※) に $y=0$ を代入すると, $g(x)=bg(x)+bg(0) \quad \dots\textcircled{2}$

(i) $b \neq 1$ のとき $g(x)=\frac{bg(0)}{1-b} \quad \dots\textcircled{3}$

$b = \frac{1}{2}$ のとき, ③より $g(x) = g(0)$ となり, $g(x) = c$ (c は定数) とおくことができる

$b \neq \frac{1}{2}$ のとき, (※※) に $x = y = 0$ を代入すると, $g(0) = 0$ となるので, ③より

$g(x) = 0$ である

(ii) $b = 1$ のとき (※※) に $x = 0$ を代入すると

$$g(ay) + g(-ay) = 2g(0) + 2g(y)$$

$$g(0) = 0 \text{ より, } g(ay) + g(-ay) = 2g(y) \quad \dots \textcircled{4}$$

$g(x)$ の次数を n とし, n 次の係数を B (ただし, $B \neq 0$) とおく

このとき, ④の左辺の n 次の係数は $\{a^n + (-a)^n\}B$ であり, ④の右辺の n 次の係数は $2B$ である

したがって, $\{a^n + (-a)^n\}B = 2B$ であり, この等式を満たすためには, n が偶数であり, $a^n = 1$ である

a は実数なので, $a = \pm 1$ となる

ゆえに, $g(x) = Bx^2$

よって, (i) (ii) より

$$b = \frac{1}{2} \text{ のとき, } g(x) = c \text{ (} c \text{ はすべての実数)}$$

$$b \neq 1, b \neq \frac{1}{2} \text{ のとき, } g(x) = 0$$

$$b = 1 \text{ のとき, } g(x) = Bx^2 \text{ (} B \text{ はすべての実数)}$$